

資料4(付2)

(様式2)

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>根ヶ山 光一 (ねがやまこういち)</p>	<p>所属</p>	<p>早稲田大学人間科学学術院</p>
<p>連絡先 (電話・E-mail)</p>			
<p>研究集会等名称</p>	<p>社団法人日本心理学会 食発達研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 会員7名, 非会員14名(うち認定心理士0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 助成を受けてから今年度内に、「食発達研究会」として3回の集会をもち、情報交換を行った。それらは以下の通りである。</p> <p><u>1回目集会:</u> 日時: 2008年11月1日(土) 15時~18時 場所: 早稲田大学人間科学学術院人間総合研究センター テーマ: Bali 島の食と文化 演者: 余語琢磨氏(早稲田大学人間科学学術院) 内容: Bali 島の食と文化を巡って、文化人類学の立場から話題提供をしていただき、参加者全員で、環境、食の価値観、伝統と今日の食などを子どもの食にも絡めながら議論した。</p> <p><u>2回目集会:</u> 日時: 2008年12月13日(土) 15時~18時 場所: 津田塾大学 テーマ: (1) 家庭の食を介した親子間相互作用: 弁当に関する考察を中心に (2) 食における道具と身体 演者: (1) 伊東暁子氏(早稲田大学人間科学研究科) (2) 青木洋子氏(東京大学大学院教育学研究科) 内容: 上記2題について、若手研究の報告をいただき討論した。</p> <p><u>3回目集会:</u> 日時: 2009年3月14日(土) 15時~18時 場所: 早稲田大学人間科学学術院人間総合研究センター テーマ: 小・中学生の精神的健康状態と食・生活習慣、健康意識との関連について 演者: 田中敬子氏(滋賀県立大学人間文化学部) 内容: 子どもの食・生活習慣と精神的健康状態・健康意識に関する質問紙研究の成果をふまえ、今日の子どもの食を巡る諸問題を栄養教育の立場から議論し確認した。</p> <p>以上食発達に関する情報を交換し、今後の展望を共有できた。今後はさらにそれらを継続して行うとともに、2009年度の日本心理学会でシンポジウムを開催する予定である。</p>		